

市長	副市長	部長	所長	参事	次長	副参事・係長	記録

【所属名：福祉事務所】
【会議名：第1回地域福祉計画策定委員会】

開示
一部開示 (理由: 条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月)

会 議 録

作成日 平成23年11月1日

日	平成23年10月25日	時間	9:30~11:30	場所	201 会議室
件名	(1) 計画策定の概要とスケジュール (2) 計画(案)の概要				
出席者	【出席者】 9人 長崎委員、倉又委員、金子委員、西山委員、小池委員、池田委員、室川委員、笠原委員、清水委員 【欠席者】 1人 加藤委員 【事務局】 吉岡部長、池亀所長、加藤次長、水嶋副参事、吉岡係長、磯野係長 社会福祉協議会 倉又事務局長				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

- 1 開会 (9:30)
 - 2 あいさつ 吉岡部長
 - 3 委員紹介 名簿により自己紹介
 - 4 委員長・副委員長選任 池亀所長報告
委員長：池田委員 副委員長：小池委員
- 議題
- (1) 計画策定の概要とスケジュールについて
【事務局】 計画(案)と別紙日程一覧により説明。
【委員】 質問等なし
 - (2) 地域福祉計画(案)の概要について
【事務局】 計画(案)により説明。その後、社協事務局長より関連する行動計画の策定について説明し、池亀所長が両計画の関連性を中心に補足説明。
(質 疑)
【委員】 総合計画の実施計画も策定作業中だが、本計画との整合性があり、元となる計画であることから、支障がなければ配付してほしい。
【事務局】 (案)としてではあるが、12月議会に配付する予定なので、差し支えない。近日中に送付する。

※会議時間を決めれば、集中した議論ができるのではないかと、との意見あり。11時30分を目

処とすることとなった。

【委員】 表紙のタイトルが「安心と充実のまちづくり」となっているが、計画案の内容からすると「安心、癒し、充実のまちづくり」がよいのではないか。

【事務局】 検討したい。

【委員】 「癒し」を取り入れることについては賛成。世の中の動きに合わせたもので一步前進だと思う。

【委員】 ・行政の計画における「癒し」の意味が、今ひとつ理解できない。
・障害者の福祉に40年ほど携わってきたが、法の整備もあってここへ来てようやく安心して生活できるようになってきたと思う。高齢者も障害者も、より安心して生活できる前向きな計画にしてほしい。

【委員】 「癒し」とは、ほっとできる精神的な部分のことではないか。日々の生活の中では、大切な部分と考えられる。このような計画では、言葉だけが走ってはいけないと思う。

【委員】 ・基本的な理念に高い理想を掲げることは良いが、このように作っても国の政策がなっていないと思う。

・市の総合計画では、2時間くらいで審議を終了するような会議もあり、福祉についてもわずかな部分しかなく、さっと過ぎてしまい、十分な議論ができない。

【委員】 ・前回の行動計画策定については、始期は本計画より1年遅れ、終期は同じ23年度としたが、今回はこの計画と同時に立てていきたいと考えている。

・市ではジオパークを柱に据えて取り組んでいるが、糸魚川へ行くと癒しを得られる、という面でジオパークとも関連づけられる。

【委員】 ジオパークには「おもてなしの心」も関係していると思う。また、日本古来の結の絆は、福祉だけではなく、市全体とも関係が深い。

【委員】 タイトルは「安心、癒し、充実」の3点を事務局で上手に工夫してほしい。

【事務局】 地域の支え合いが難しい状況になっていることもあり、行政としては、互いに支え合う仕掛けづくりも大切な役割だと感じている。

【委員】 お互いに見守り合う「共助」が、向こう三軒両隣というように昔はできていたが、今はそうではなく、また、同じような状況の地域でも、共助のあり方が異なっている。どうしたらこれを復活できるかという意識改革が大事。

【委員】 P5(1)高齢者を取り巻く状況の中程に、「・・・整備する・・・」とあるが、この部分は、「取り組む」でよいのではないか。行政、地域、個人それぞれの役割をはっきりさせても良いと思う。

【委員】 先日の福祉大会で、災害時の対応についての講演があったが、そこでもまず自分ができること、地域に頼むこと、行政が行うことをある程度明確にしておくことが、自分の身を助けることにもつながるとの内容だった。このような計画では、共助、公助が中心になると思うが、自助がまず先でもよいのではないか。

【事務局】 自主防災の組織化というようなことなら「整備」が適当かも知れないが、この文章なら適当ではないかもしれない。

【委員】 「取り組み」でよいと思う。計画が策定された後は、民生委員としても勉強していきたい。

【委員】 P9の地域の取組中、「地区公民館」とあるが、前後の文字、文脈からして「地区」を削ってもよいのではないか。また、「独居」という文字も、何か寂しさを感じさせ、

そぐわない気がする。

【事務局】 「独居」については、福祉の計画なので暖かみのある言葉としたい。検討させてほしい。

【委員】 地区公民館のままでも良いと思う。5年後には新たな体制に完全に移行することを見据えれば、「地区」は残しておいてほしい。

【委員】 地区や区によって、公民館のとらえ方にギャップが出ているのではないか。レベルの差がないようにしてほしい。

【委員】 糸魚川のいくつかの地区では、地区公民館の下部組織として支館があり、地域に密着した事業を行っており、そのような実情を考えると、総称としての「公民館」でよいと思う。

【委員】 ・「地区」をどうするかは事務局で検討してほしい。

・P6 の子育て支援の状況について、学校は、文化祭や運動会などの振替で、月曜が休みになることが年に数回あるが、月曜は児童館も休館日となっており利用ができない。休館日の変更などによって対応できないか。

【事務局】 施設整備などハード面での対応は困難だが、公民館は職員が常駐しているので、公民館で受け入れるなど、可能な部分へはソフト面で対応したい。

【委員】 図書館も火曜日休みになるとよいのではないか。

【委員】 能生、青海には生涯学習センターがあるが、糸魚川地域にはないので、そのことも課題ととらえている。

【委員】 ・「癒し」にフリガナをつけてほしい。

・P14には「障害者自身をはじめ」とあるが、障害者自身がたとえ変わっても、とりまく人たちが変わらないとだめ。

・「ノーマライゼーションの理念を持ち続ける」は良いが、その先どうするかを盛り込んでほしい。

・「授産」という言葉はいかがか。あまり使わないのではないか。

・市役所のエレベーターについて。節電のため一機を停止しているのは理解できるが、障害のある人にとっては動かしてほしいと思う。

【委員】 「ノーマライゼーションの実現のために・・・」としてほしい。

【事務局】 エレベーターについては、駐車場に近い南口からの出入りを想定し、西側のみを運転した。障害がある方への対応という点について、考慮、検討したい。また、ノーマライゼーション云々についても検討する。

【委員】 障害者の雇用率について、民間は1.8%と聞いているが、市職員はどうか。

【事務局】 市長部局と教育委員会部局に分けて計算することとなっており、いずれも雇用者数では基準を満たしているが、率ではわずかに足りないと聞いている。

【委員】 母子家庭、父子家庭の率はどうか。

【事務局】 ここでは不明だが、担当に照会し回答したい。

【委員】 ホームレスの記述があるが、不要ではないか。

【事務局】 計画にはそぐわないかもしれないので、削除する方向で検討したい。

(3) その他

次回は11月29日(火)午前9時からの開催とする。